



日越大学と UNDP との共催イベントの参加者

UNDP とレスポンシブル・ビジネスに関するイベントを共同開催

2024年2月29日、レスポンシブル・ビジネス（Responsible Business）に関するイベントを The Green One United Nations House にて国連開発計画（UNDP）と共同開催しました。近年、社会課題の解決への貢献とビジネスを両立させる「レスポンシブル・ビジネス」という考え方が、世界中の様々な業種の企業から注目を集めています。イベントには森永乳業の現地法人 ELOVI Vietnam や AEON Vietnam、三菱総合研究所ハノイ事務所などが参加し、各企業、団体での取り組みについて紹介がありました。日越大学の学生達は、本イベントを通して在越日系企業の実践を知る機会を得て、レスポンシブル・ビジネスが日越大学の教育理念でもあるサステナビリティサイエンスとも深く関係する新たなビジネスモデルであることを学びました。イベントには日越大学教員、学生など約80名が参加し、学生達にとって貴重な機会となりました。



各企業代表によるパネルディスカッションの様子

今月号の内容

- UNDP とレスポンシブル・ビジネスに関するイベントを共同開催
- 学部日本学プログラム、三谷産業・小金井精機製作所連携講座を実施
- 大学間交流活動を実施
- 日越大学第二期理事会・第4回会議を実施
- Real Voice
粟飯原志宣先生（日本語教育）
- 日越関西友好協会、日越大学に桜の苗木35本を贈呈
- 第9回ジャパンベトナムフェスティバルに参加

学部日本学プログラム、三谷産業・小金井精機製作所連携講座を実施

学部日本学プログラム 2 年生を対象とした科目「日本型ものづくり」は三谷産業株式会社、株式会社小金井精機製作所の協力を得て実施しています。2022 年から始まった本連携講座は本年で 3 回目の実施となり、過去の講座同様にグローバルな視野で日本のものづくりを捉えることができる人材の育成を目指し、日本のものづくり企業の経営トップによる講義を実施しています。

ハウスフーズベトナム

2024 年 2 月 28 日、ハウスフーズベトナム、田村文武氏による「ハウス食品グループの経営戦略と品質管理」に関する講義が行われました。講義では、ハウス食品グループの概要や経営方針から始まり、ベトナム含めたグローバル戦略、品質管理及びマーケティングの重要性等が紹介されました。「ベトナムにおけるカレーの普及活動の取り組み」を学ぶ機会となりました。



田村氏による講義

東レ株式会社

2024 年 3 月 9 日、東レ株式会社の三木憲一郎専務執行役員による「東レグループ繊維事業の経営戦略」に関する講義が行われました。本講義は対面形式で開催され、東レグループの概要や経営方針、モノづくりの考え方、グローバル戦略が紹介されました。また、3 月 27 日にはオンライン形式での講義も実施されました。日越大学の学生は、「サステナビリティ対応による事業拡大」を学ぶ機会となりました。



三木氏による講義

ホンダベトナム

2024 年 3 月 13 日、ホンダベトナムによる「ホンダグループの事業概要」に関する講義が行われました。本講義は学生達がホンダベトナム社を実際に訪問し、工場の見学もさせて頂きました。講義では、ホンダグループの概要や経営方針を学び、工場見学では、リアルなビジネスの現場に触れることができ、日越大学の学生にとって貴重な機会となりました。



ホンダベトナム訪問

一般財団法人 日本科学技術連盟

2024 年 3 月 20 日、一般財団法人 日本科学技術連盟（講師：岩崎日出男氏 近畿大学名誉教授）による講義が開催されました。本講義はオンライン形式での開催となりました。講義では、日本での品質管理の経緯が紹介されました。日越大学の学生は、日本の高品質の特徴を学ぶ良い機会となりました。



岩崎氏によるオンラインでの講義

▶ 大学間交流活動を実施

■岡山大学と共同セミナー及び Study Japan Booth を開催

2024年3月2日、日越大学と岡山大学は「ベトナムで日本研究を考える」セミナーを共同で開催しました。このセミナーでは、学部日本学プログラム、修士課程グローバル・リーダーシッププログラム、修士課程気候変動・開発プログラムの教員、学生が異文化適応、教育の国際化、環境問題など多岐にわたるテーマで発表しました。セミナーでは日越大学から岡山大学に進学したベトナム人博士課程の学生2名による、夏目漱石の翻案とボーカロイド音楽の歌詞分析に関する研究が注目を集めました。また同日、岡山大学主催の Study Japan Booth も設置され、日本での学生生活や留学機会についての情報提供が行われ、参加者から高い関心を集めました。このイベントを通して日越間の学術交流を促進し、両国の学術的連携を深めました。



Study Japan Booth 様子

■名古屋経済大学ベトナム経済・社会研修プログラムを受け入れ

2024年2月27日～3月2日、名古屋経済大学の学生4名と教職員3名が、ベトナム経済・社会研修プログラムの一環で日越大学を訪問しました。期間中、日本語の授業でのディスカッションや、ベトナム現代経済、日越関係等の特別講義を実施しました。本活動は日越大学の学生にとって日本の大学生との交流を深める貴重な機会となりました。



日本語授業でのディスカッション

▶ ASEAN との連携強化へ、日越大学から質保証研修に参加

2024年2月26日～3月2日、Nguyen Thuy Duong 教育試験・質保証課長と小池基 JICA 専門家は ASEAN 大学ネットワークによる教育プログラム評価を目的とした国際研修会に参加しました。この研修参加は、ASEAN 諸国との教育協働を一層密接にする契機となりました。参加者たちは大学教育の質保証に関する知見を共有し、地域の教育水準向上に向けて意見を交換しました。『日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト』は、ASEAN との教育協力を一層充実させ、教育の質の向上に貢献していくことを目指します。



研修会修了式 (Duong 課長)

▶ 日越大学第二期理事会・第4回会議を実施

2024年3月12日、日越大学理事会をハノイ国家大学ホアラックキャンパスにて開催しました。会場には日本側理事として、内田勝一 早稲田大学参与・名誉教授、武部勤 日越友好議員連盟特別顧問、相澤益男 公益社団法人科学技術国際交流センター会長、モンテ・カセム 公立大学法人 国際教養大学 理事長・学長にご出席頂きました。理事会は、理事長のレ・クアン ハノイ国家大学総長の議長のもと進められ、2024年の事業計画、2023年事業報告を行いました。



理事会会場



Real Voice

栗飯原 志宣 先生（日本語教育）

日越大学修士プログラム開設時（2016年）から2024年3月まで日本語教育プログラム（JLE）の教員専門家として活躍された栗飯原志宣先生から、JLEの強みや学生達に向けた学習アドバイスについてお話をお伺いしました。



栗飯原志宣先生

日越大学 JLE の特色、強みについて教えてください。

日越大学 JLE では、アーティキュレーション（全ての学生が、その日本語能力に応じて、適切なレベルの日本語教育をうけられる）システムがあることが一番の強みです。ベトナム国内で、このシステムを実践できている大学は日越大学だけで、本校の誇れる教育システムであります。このシステムを継続するには JLE の講師、学部日本学プログラムの教職員、そして学務の理解が伴って、初めて継続できます。これからもこのシステムが維持できるように日越大学全体で努力頂くことを願っています。

先生が大切にしてきた信念はどのようなものですか。

着任後、ベトナムでの仕事の進め方が日本や他国とは異なることに気がつきました。ベトナムでの活動にとっても悩んだ時、当時、JICA 専門家として派遣されていたベトナム人同僚



から「先生は日本のやり方を 200%主張し続けてください。そうすれば 50%、50%（fifty-fifty）になります。」という助言を頂きました。初めは驚いたのですが、それを信念に8年弱貫いてきました。今の JLE に日本の要素が 50%反映されたかどうかは、皆様のご判断を請いたいです。

日越大学でやりとげたことを教えてください。実現しつつあるものとして、レベル別のコーディネーター制があげられます。各レベルに常勤講師を主担当、JICA 専門家をサポートに配置し、各レベルに関わる全てを責任持って管理運営するもので、現場運営の技術移転を目指しました。当初、常勤講師から負担が多すぎるという反対意見もありましたが、今は皆さん「私のレベル」として愛情を持って努めてくださっています。達成に至る背景には専門家の皆さんの大きなサポートがあったことも忘れることはできません。



修士課程地域研究（日本研究）の学生たちと栗飯原先生

学生達に向けて日本語学習へのアドバイスをお願いします。

やれば+（プラス）、やらねば-（マイナス）、継続は力なり。x を日数とすると、毎日、昨日より 0.3%サボり続けると $(1.03)^x$ で後退する。毎日、昨日より 0.3%多く頑張る続けると $(1.03)^x$ で成長する。これを習慣化しよう。でも、努力しても成功しないことはある。

そんな時はチャンス。努力した自分を褒めつつ、結果の内省をしよう。それが、次の大きな成功を導く!!

日越関西友好協会、日越大学に桜の苗木 35 本を贈呈

2024年3月12日、NPO法人日越関西友好協会から桜の苗木35本の贈呈を受け、植樹式を日越大学ホアラクキャンパスにて行いました。式には築野元則日越関西友好協会理事長、武部勤日越友好議員連盟特別顧問、渡邊滋在ベトナム日本国大使館次席公使、日越大学理事、教職員、学生が参加しました。日越大学は贈呈頂いた桜を日越友好の証として大事に育てて参ります。



植樹式



桜苗木の撮影を楽しむ学生達

第9回ジャパン ベトナム フェスティバルに参加

2024年3月9日、10日、ホーチミン市で開催された第9回ジャパン ベトナム フェスティバルにて、JICA ベトナム事務所ブース内に「写真でみる日越大学。設置認可から10年の軌跡と今後ビジョン」と題した写真を展示しました。当日ブースには1200名以上の来場があり、日越大学をより知って頂く機会となりました。出展にご協力いただいた皆様、当日ご来場くださった皆様、ありがとうございました。



日越大学の展示

人事往来

【着任（2024年3月）】

- ・久好 孝子 : プログラム運営・実施（日本語教育）
- ・松井 孝浩 : プログラム運営・実施（日本語教育）

【離任（2024年3月）】

- ・栗飯原 志宣 : プログラム運営・実施（日本語教育）
- ・石川 由紀 : プログラム運営・実施（気候変動・開発）

■日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook

（ベトナム語）<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

（日本語）<https://www.facebook.com/VJUjap/>

JICA プロジェクトページ

<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/057/index.html>

■お問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト メルマガ編集部（担当：川口）

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト